

VOLVO **242/244-B21**



ひとつひとつの機構を完全に……

ボルボは、信頼度の高い機構を、独自に研究開発する一方、各国から定評のある部品・コンポーネントを採用し、バランスのよい、しかも安全な車をつくって来ました。これはボルボの伝統的哲学です。横からの衝撃が内部へく貫くのを防ぐため、ドアの中に組み込んだ鋼鉄製のサイド・プロテクション・バー。車室全体を守る強靱な鋼鉄製のケージ構造。4輪ディスクブレーキ。ダブルライアングル式二系統ブレーキシテム。また、エアコンディショニングシステムは、快適な室内空間をつくり、ドライバーシートにはサーモスタット付の電動リクライニングヒーターを内蔵しています。ドライバーの体格に応じて調節可能な、人間工学にもとづいて設計されたシートに加えて、パワーステアリング、フロント・パワー・ウィンドウが、ドライバーの疲れを最少にします。でも、これらはボルボの持つ特長のほんの一部をあげたにすぎません。ご自分の手でステアリングを握ってみてください。完全を願うボルボの車づくりとは何かか、もっとはつきりお解りいただけるでしょう。

なお、ニューモデルは、日本の交通事情に合わせて右ハンドルで登場しました。



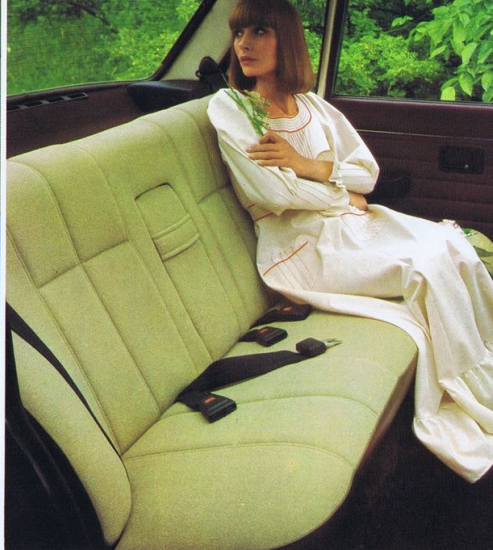
広々とした室内空間の中にも、細かいボルボの心づかいが息づいています。

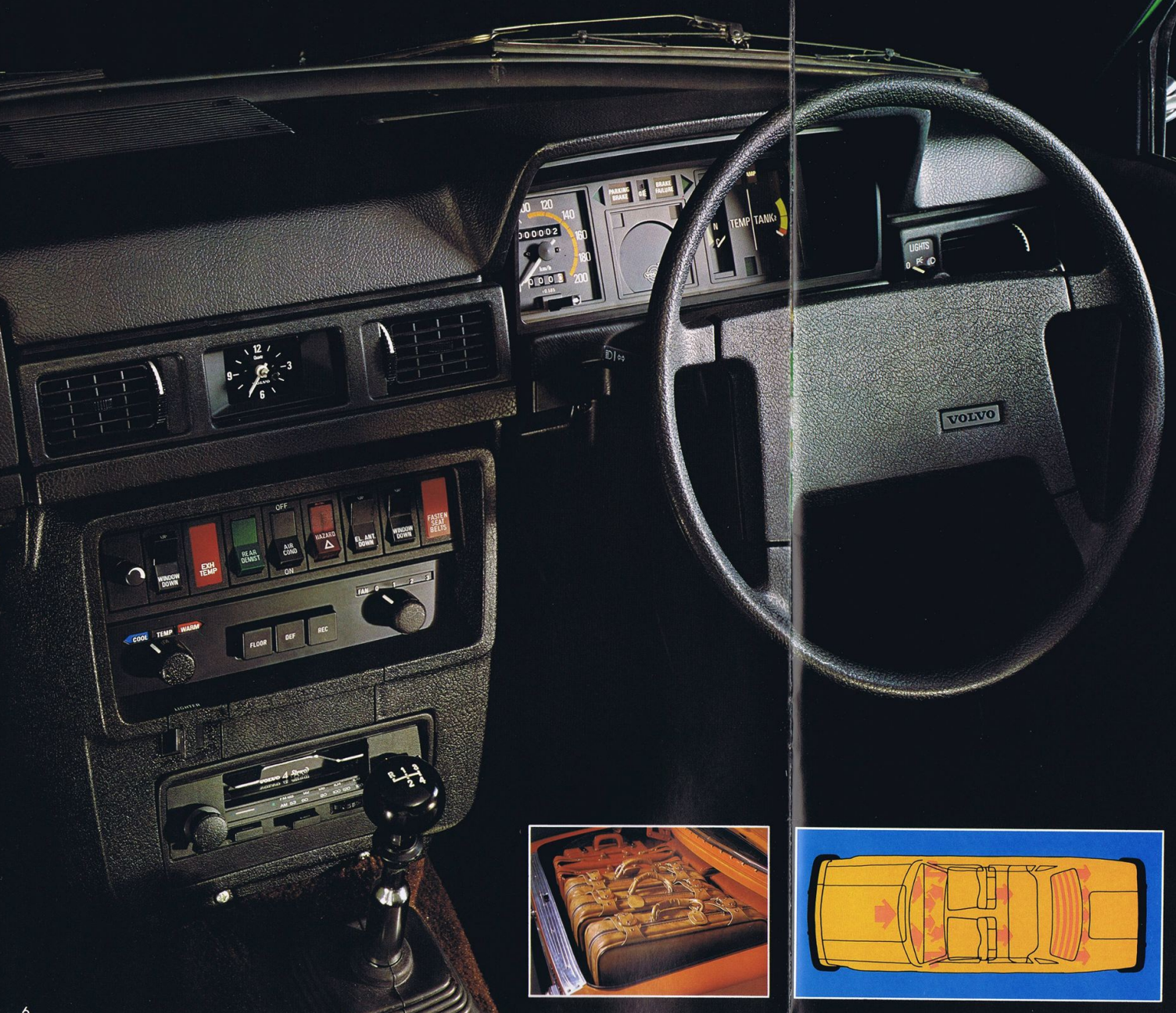
ヨーロッパの人々にとって、椅子は身体を休めるための家具として昔から生活の一部でした。欧州車のシートに定評があるのも、この理由にはあきまりません。特に、ボルボのシートには北欧家具の伝統が息づいています。

ボルボ242/244はイナーシャリール付3点支持シートベルトを、フロント・リアシートともに標準装備。このシートベルトは、調節なしでどなたにもフィットし、しかも、シガレットライターに手をのばす時など、普段の動作には、まったくきまたげになりません。

大人5人が、足を伸ばしてゆったりと座れるよう、足もとに広い空間を確保しました。ボルボのシートは、専門医とエンジニアの共同研究により設計されています。フルクライニング式のフロントシートは、ワンタッチで前後それぞれ高さを3段階に変えられ、その組み合わせで9通りのポジションに調節できます。また、内蔵されているランパーサポートにより、背もたれの堅さや張り具合まで調節可能というユニークな特長も持っています。ボルボのシートはどんな体格の方にもフィットするばかりでなく、身体を完全にささえ、疲労を防ぐので、ドライバーは運転に集中できます。ドライバーシートにはサーモスタート付エレクトリックヒーターが標準装備されており、冬期でも快適な運転ができます。

リアシートは、背もたれの両端に角度をもたせ、身体を包み込むようにして、身体の横ゆれを防ぎ、クッションのスプリングは最も座心地の良い、疲労を少なくするものが使われています。また、ボルボ242/244DLでは、肌ざわりが柔かくて、夏は涼しく冬暖かい通気性のあるファブリックを採用。特殊処理をほどこして、しみや汚れを寄せつけません。244GLのシートは高級ブラック本革仕上げです。なお内装材は全て不燃性のものを使用し、安全性を高めています。

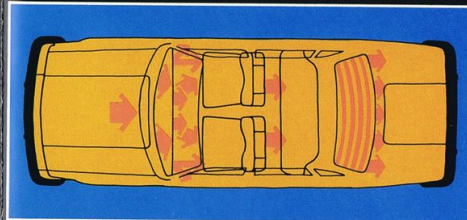
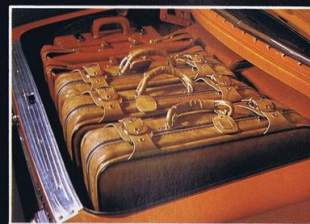
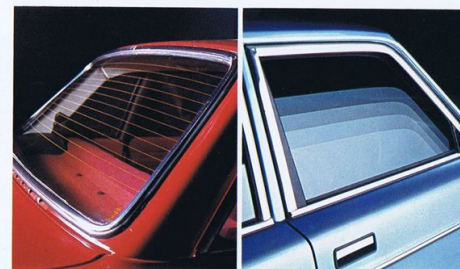


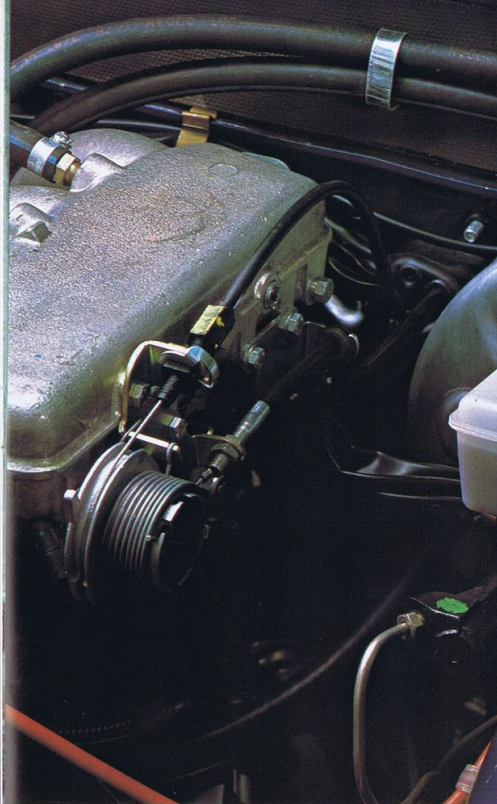
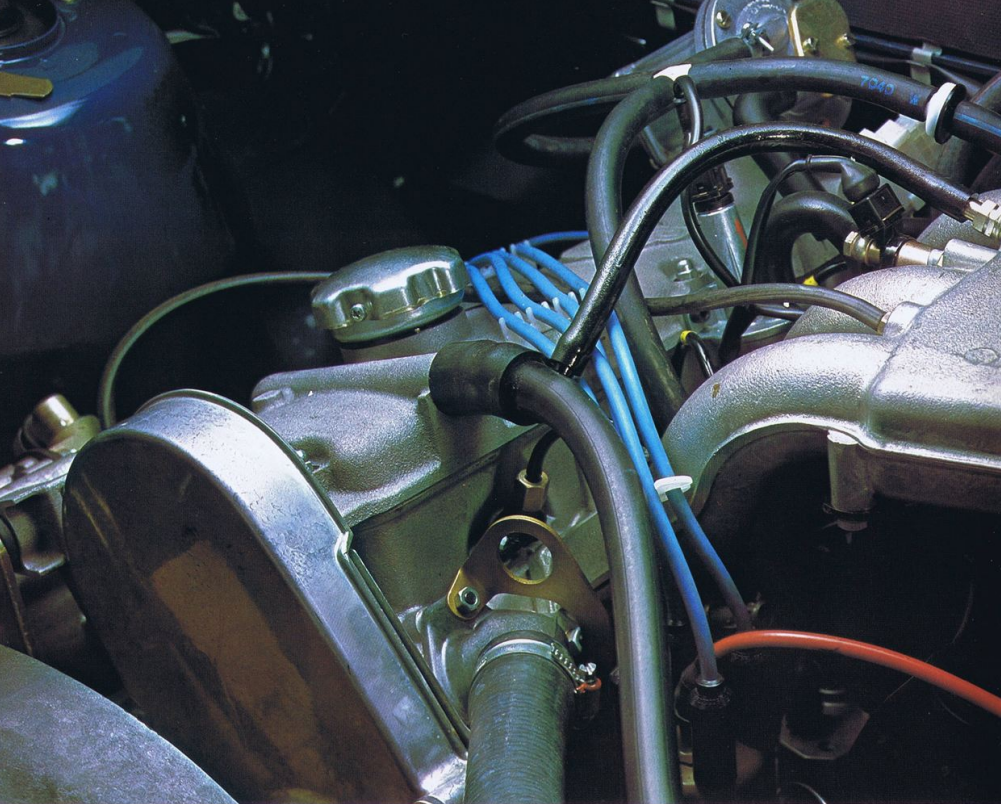


コントロール装置は、きわめて注意深く設計され、レイアウトされています。

ステアリングは、インストルメント・パネルが見やすいよう、新デザインに改めました。大型で見やすいスピードメーター、温度計、燃料計に加えて、警告ランプがインストルメント・パネルに組み込まれています。パルプ・インテグリティ・センサーはヘッドライトのロービームや、テールランプ、ブレーキランプ系に故障・断線があると、点灯するしくみです。さらに、ブレーキ系統の故障を知らせるランプや、排気系統の加熱警告ランプ、またハンドブレーキが解除されていない場合、リアウインドウのデフォグガーのスイッチが入ったままの時……ドライバーに知らせるための警告ランプが点灯します。

ダッシュボードの中央にクォーツ・クロック。その下のコンソールにエアコンディショナーおよびカーステレオの操作ボタンを集中させました。エアコンディショナーは温度調節し、湿気を除いた新鮮な空気を車室内に送り込みます。吹出口は全部で12。そのうち2つはフロントシートの下部から後方へ向けられていますから、リアシートも常に快適です。また、サイドウインドウに向けられたノズルによって、ガラスの曇りを防いでいます。ファンの切り換えは3段階、常に静かです。その他に、熱線式リアウインドウ・デフォグガーのスイッチ、フロントドアのパワーウインドウ・スイッチ、ハザード・フラッシャーのスイッチが整然と並びます。トランクルームは収納スペースが最大にとれるよう、設計されています。簡単なことですが、615リッターの容積を誇る車は、そう多くありません。思いっきり深く、スーツケースが立てたまま収納可能。ですから横に積み重ねた時、下の荷物がとりにくいといった不便さをあじわわずにすみます。スペアタイヤも立ててサイドに収納しています。





新設計エンジンは、パワーと経済性という、両立させにくい要求を、同時に満しています。

ボルボのエンジニアは常に効率の良いエンジン——パワーがあり、加速性能が良く、きびしい条件のもとでも信頼性、耐久性を失わないものを作ろうと努めてきました。ところが、ボルボのエンジニアが意識しない間に、新しく開発されたエンジンは、まぎれもなく、燃焼効率を追求するレーシングエンジンの性格をも、そなえたものになったのです。

この212cc4気筒エンジンは、シリンダーヘッドに軽合金を使用し、クロスフロー方式を採用しています。フェュエルインジェクションを採用し、ヘッドの左右に、吸入と排気のマニホールドを分けているので、吸入系統が排気の熱から隔離され、吸排気効率が良い燃焼効率も高めています。また、ベルトドライブによるS.O.H.C.で、プッシュロッドやロッカーアームは不要となり、効率が良く、静かな走行が約束され、調整も少なくて済みます。

フェュエルインジェクションに関するボルボの長い経験から、240シリーズには信頼度の高い機械式連続燃料噴射システムを採用。これにより、どのような条件下での走行でも効率良く本来の高性能を発揮。さらにソリッドステートイグニッションシステムにより、メンテナンスも楽です。この新型エンジンは、新開発のトランスミッションとの組み合わせによって、加速性、燃費ともに優れたものになっています。244GLマニュアルに装備されているオーバードライブ付トランスミッションもまた、大きな特長です。これは電磁式で、いわば速目のギアのようなものです。第4速において、スイッチを入れるだけで作動。エンジンの回転数を20%下げ、燃料を節約し、高速連続走行に威力を発揮します。242/244の4段マニュアルも含め、新しいトランスミッションは、特に堅牢に作られており、また、出足の良さを考えたギア比の選定、リバーシフトリングなどの新機構が加えられています。

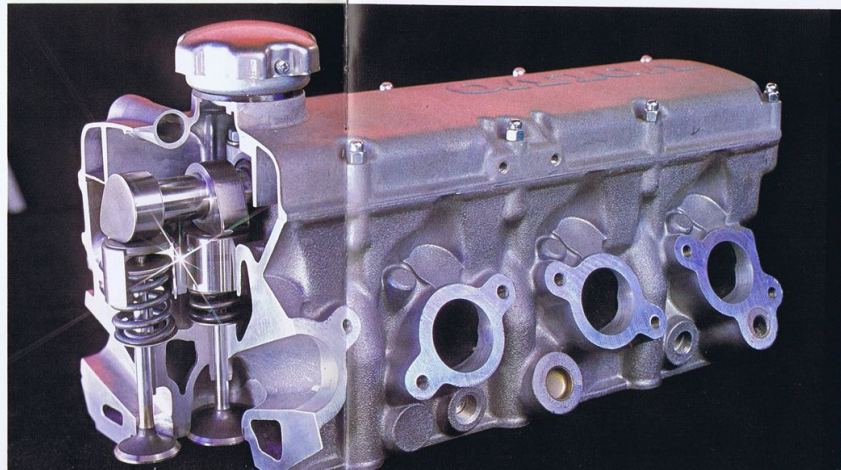
3速オートマチックトランスミッションも新設計。なめらかなレスポンスが良く、しかも大変頑丈です。このオートマチックは、約50km/hの速度からでも、いきなりローへキックダウンが可能です。——これは登り下りの多い山道の走行や、市街地でのドライブで急な加速や牽引力が必要とされる場合には、特に有利なポイントになります。

排気ガス対策

新しいエンジンは、燃焼効率が良いので、基本的にきれいなエンジンと言えます。しかし、なお一層HC、COやNOxを減少させるために、次のような装置が採用されています。

- CI燃料噴射装置
- ポジティブ・クラंकケース・ベンチレーション
- エキゾースト・ガス・リサーキュレーション(E.G.R.)
- エア・インジェクション・システム(A.I.S.)
- 触媒コンバーター

ボルボは触媒を使って未燃焼HCやCOを酸化させています。この場合、有鉛ガソリンの使用は、触媒を損傷し、反応能力をいちじるしく低下させるので、ニューモデルには、必ず無鉛レギュラーガソリンをご使用ください。

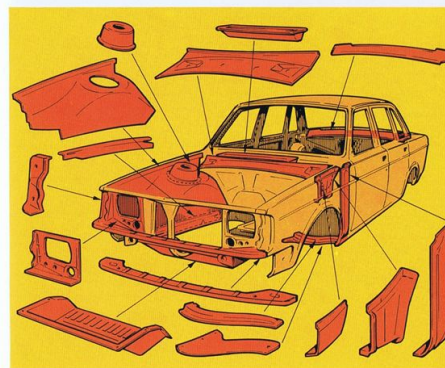
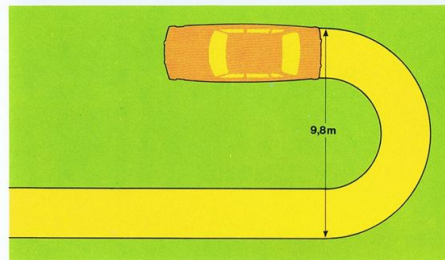
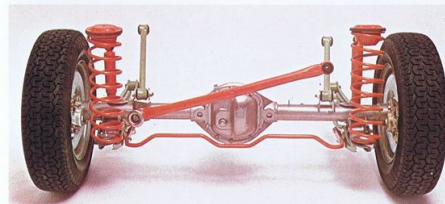
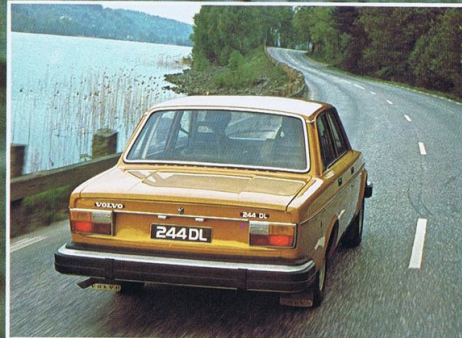


スポーツ走行を楽しむには、確實でスムーズなマニュアルトランスミッションをおすすめします。また、一方混雑した市街地走行の多いドライバーには、オートマチックトランスミッションが便利です。

ボルボの姿勢は、
選びぬかれたシステムによく表現されています。

240シリーズの機構は全て、ボルボの実験室でテストされ、また、世界各国のあらゆる条件下で実際に走行し…その厳しい試練と評価を耐え抜いてきたものばかりです。ラインに乗る前に、全てのアッセンブリー、部品は、ボルボの設計哲学の重要なポイントである高品質、耐久性、堅牢性、安全性について、それぞれボルボの品質基準に合格するものかどうか、ひとつひとつ厳密に確認されます。





すみからすみまで、エンジニアのするどい目が行きとどいているボルボ——
ドライブをひとつの楽しみにしてしまう、魅力的な車です。

ボルボ242/244は、スチール・ラジアルタイヤを標準装備としています。ステアリングは、正確でレスポンスの良いラック・アンド・ビニオン式を採用。

さらに、全てパワー・ステアリングを標準装備。ラップ・アラウンド型のバンパーと相まって、その機動性は、車庫入れや道幅が狭い市街地で、無用な気をつかわなくてすみ、楽な運転をお約束します。

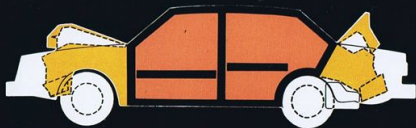
前輪のサスペンションはスプリング・ストラットのユニットによる独立懸架式。このユニットは非常に堅牢で、かつ小型にできており、エンジンルームのスペースを取らずメンテナンスが楽です。なお、車体のロールを少なくするため、フロントサスペンションには、スタビライザーを加えてあります。

リアサスペンションは、コイルスプリング式リジッドアックスル。2本のサポートアーム、トルクロッドおよびトルクアームによって、しっかりと支えられています。

さらに、リア・スタビライザーが設けられていて、前輪のスタビライザーとの相互作用により、ボディのロールを最少にします。これらの組合せによって、すぐれた走行安定性が得られ急ブレーキ、急発進時の不快なwindアップも有効に防止されています。

ステアリングシステムのレスポンスの良さは、車全体の操作性の良さにつながります。広々とした室内空間を誇りながら、一方でボルボは市街地走行の時、小回りのきく車といえます。回転半径は4.9m。これは小型車でも、たやすく得られる数値ではありません。

ボルボは長もちするように設計されています。長年お使いいただいても新車同様の光沢を保つボディ塗装の価値は、ただ美しいというだけにとどまらず、車の機構そのものにもかわります。たとえば、乗員の安全を守る鋼鉄のバーも、錆ればもう最初に設計された時の強度を発揮できなはずで、溶接重鉛中につけ、電着処理するホットガルバナイズ処理や、錆止めの溶液による特殊な防錆処理が、ボディのあらゆる細部にまで、ふんだんに施されています。しかも、ボルボは設計の段階から、水滴のたまりそうな不要な囲みや凹部を作らないようにデザインされます。仕上げ塗装は、まず塗料が良くするように、リン酸塩により金属表面を処理することから始まります。次に、ボディ全体を電着溶槽のプライマー溶液の中にすっぽりと浸し、そこで鋼板に塗料を電着塗装します。加えて熱処理でペイントを硬化させた後、ボディ全体に磨きをかけ、プライマーのスペーシングコーティングをし、さらに熱処理して磨き、最後にエナメルをかけます。ふんだんに使われている重鉛鋼板やステンレススチールも、雪と氷のスクウェーデンが生みだした名車ならではの心づかいです。図は、ホットガルバナイズ処理を施したボディパーツを示しています。



240シリーズのボディは前後の両方に緩衝ゾーンを設けてあります。衝撃を受けたとき、それが中央部、すなわち客室に達しないように、ここで吸収してしまおうというしくみです。この保護ゾーンを形成しているのは、まず衝撃吸収バンパーであり、次にボディのクラッシュパネル部分に当たります。この部分は特殊パターンによって形成されており、受けた衝撃の強さに対応して収縮する構造になっています。

●箱型構造のロッカーパネルは横からの衝撃をくいとめます。また通気構造により、常に換気されているので、水滴がたまりにくく、錆を寄せつけません。

●インナーフエンダー、ストラットタワー、その他ボディ構造のうち、露出した重要な部分には、ホットカルバナイズ処理による厚い亜鉛コーティングを施し、腐蝕に対処しています。

●ボディは、リン酸塩による処理を施したあと、電着ペイント浴槽の中にすっぽりと浸されます。これによって均一なコーティングができ、塗料の付着が確実なものとなります。

●特に強固に作られたバンパー。5km/hのスピードで衝突されても、びくともせずにボディを守ります。

●ラック・アンド・ビニオン式ステアリング機構は応答が確実。ストラット式フロントサスペンションに、よくマッチしています。

●ルーフをささえる6本のピラーは、箱型の形状を持ち、前述の高い剛性を確保。しかも細身に設計されており死角が最少。広い視界が確保されます。

●リアウインドウの表面にプリントされた150ワットのデフォッカ。長時間のうちに曇りをとりやすくします。

●乗員を守る鋼鉄製のケージ構造は頑丈そのもの。テストでは、ホルボの車体6台分の重量をささえてもヒクともしないという結果が出ました。

●車体のロールを少なくし、ロードホールディングをさらに向上させるため、フロントとリアにスタビライザーを採用しています。

大きく余裕を持たせた安全対策は、安全基準をはるかに超えて、充実しています。

車の安全対策は、大きくわけて2つのグループになります。ひとつは事故が発生しないように予防するための対策、つまり「アクティブ・セーフティ」と呼ばれるもの。もうひとつは、車に万一事故が起ってしまった際にも、被害を最少にするための対策、つまり「パッシブ・セーフティ」。安全対策には、この2つがあるのです。

「アクティブ・セーフティ」としては、ボルボ242/244の操縦性の良さ、レスポンスの良さ、そして、安全を高めている全ての優れた機構があげられます。正確なステアリング、安定したサスペンション、レスポンスの優れたエンジン、視界の広さ——これらはパワーアシスト付4輪ディスクブレーキとともに、ボルボの事故防止対策をかたちづけている、大きな特長です。

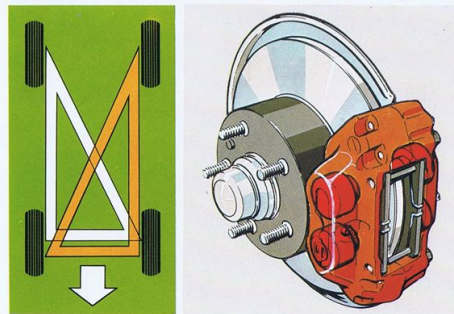
ボルボの広範囲にわたる「パッシブ・セーフティ」は特に優れており、この分野では常に世界の安全基準をリードしています。

スタイリッシュなボディそのものがすでに安全対策なのだと言ったら、驚かれるかも知れませんが、事実なのです。このボルボのデザインは、ボルボ実験安全車(VESC)の経験で、実際に生産車に取り入れたものなのです。万一の時も、特殊なエネルギー吸収ゾーンを設けたボディ構造により、衝撃が緩和され、乗員への影響は最少限に抑えられます。車室全体が、強固な鋼鉄製のケージ構造で守られており、自重6台分の荷重に耐える。その驚くべき強度は、車体が反転してもビクともしません。ステアリングコラムの構造、インストルメントパネル、燃料タンクの取り付け位置、さらにシートに至るまで、全て安全のための重要な対策がなされています——ボルボは安全の面で妥協することなく、優美で快適な車がつくれることを実証しました。

左の図によって詳しくお調べください。装着していることを忘れてしまうほど自然な自動調節式のインナーシャリール付3点支持シートベルトをはじめとする、ボルボの安全対策が、いかに徹に入り細にわたっているかがよくお解りいただけるでしょう。

パワーステアリング
軽すぎず、しつかりとした手応えの「パワーステアリング」——車を正確に、自分の思ったコースに乗せられます。高速道路での直進性もきわめて良く、心理的に楽なドライブが楽しめます。

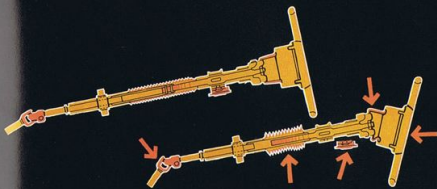
ブレーキ
効きが強く、ノーズダイブもほとんどおこさず、強力。ガンとショックを感じることもなく、スムーズに止まります。



●燃料タンクは、できるだけ車体の中央部、リアアクスルの付近に取り付け、追突された時の危険から守ります。

●横から衝突された場合に、乗員を守るため、それぞれのドアの中に頑丈な鋼鉄製のサイドプロテクションバーを組み込んでいます。

●パワーアシストの付いた4輪ディスクブレーキを採用、さらにスチールラジアルタイヤを標準装備。ホルボの「足」は走行、停止ともに確実です。



5重の安全対策が施された衝撃緩和とステアリング機構 1 ステアリングホイールのセンターハブが大きく、ショックを分散。2 ステアリングホイールのジョイント部分がふつれて、ホイール角度が身体にそうように変化。3 ステアリングロッドが前方へスライド。4 ステアリングスリーブが収縮。5 ステアリングロッドの先端が下部へ屈曲。3 4 5 ステアリング部分が車室へ突出するのを防止しています。

ボルボ独自のダブルライアブル式二系統ブレーキシステムは、前二輪と後輪のどちらか一方が、それぞれ独立した回路により結ばれているのが特長です。このシステムなら、万一方が故障しても、残りの一系統によって、全制動力の約80%が常に確保されます。また、ステップ・ボア構造のマスターシリンダーで、一系統に故障が生じても、ペダル踏力、ストロークが通常とはほとんど変わらず、ブレーキ感覚の変化による危険を防いでいます。

244 GL

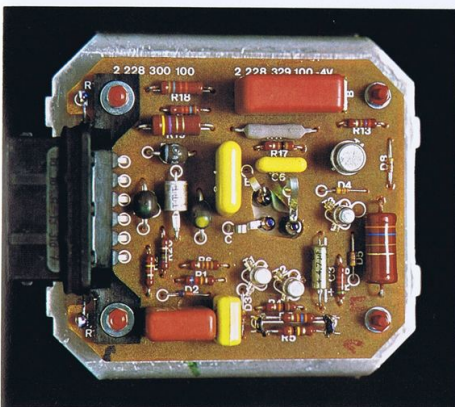
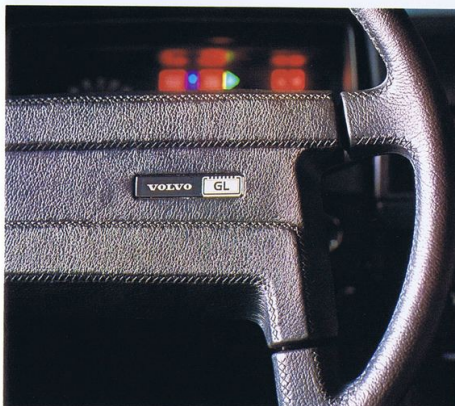


240シリーズの最高級モデルです。
特別にデザインされたホイールなどに
キラリと光る個性は、
ひとときわ抜きんでた風格を感じさせます。

オーバードライブ付マニュアルトランスミッションを採用。パワフルなエンジンと相まって、燃費を節約し、ノイズをおさえ、快適な高速走行をお約束します。しかもボルボ244GLは全てメタリック塗装。特別にデザインされたホイールとの組み合わせは、これこそ「風格の車」と言うにふさわしい落ちつきです。シートはブラック本革張り、体をやさしくつつむ乗り心地を心ゆくまで楽しめます。冬は暖かく夏はひんやりとした感触のスポーティなステアリングホイールを装備しました。

ドライブをより楽しく、また燃費を一層良くするため、4速マニュアル・トランスミッションに電磁式オーバードライブを加えています。高速走行時のエンジン回転数を20%減少させ、経済性を高めます。オーバードライブを作動させるには、シフトノブの上にあるスイッチを入れるだけで、5速目のギアのようなのですが、クラッチの必要はありません。マニュアルトランスミッション装備車には、レブカウンターを標準装備。フュエルインジェクション・エンジンのスムーズな回転が、確認できます。シフトチェンジがわずらわしいという方には、オートマチック車をお選びいただけます。

また、グリップ力の高い、ワイドなロープロファイル・ラジアルタイヤを標準装備。スポーティーな雰囲気を一層増しています。



SPECIFICATIONS

エンジン
S.O.H.C.直列4気筒。傾斜角20°
クロスフロー・タイプ。機械式連続燃料噴射。
総排気量2,127cc。圧縮比8.5:1。
最大出力106hp / 5,600rpm (DIN)

燃料装置
容量60ℓ。エア・フュエル・インジェクション
システム付。フェューエルポンプ電磁式。

冷却装置
単冷却水容量9.4ℓ。ロングライフ・クーラント入り密閉式ラジエーター。半透明リザーブタンク付。

電気系統
バッテリー・12V60A, 55A810W 交流発電機。
トランジスター・イグニッション。

変速機
242DL / 244DL
マニュアル・M45:フルシフト前進4段フロアシフト。
減速比:1st 3.71:1, 2nd 2.16:1, 3rd 1.37:1, 4th 1.00:1,
リバース3.68:1, 最終減速比3.91:1
244GL
3速オートマチック・BW55

フロアシフト、照明付インジケーター-6ポジション (P, R, N,
D, 2, 1)。減速比:1st 2.45:1, 2nd 1.45:1, 3rd 1.00:1,
リバース2.21:1, 最終減速比3.91:1

244GL
オーバードライブ付マニュアル・M46:フルシフト・フロア
シフト。

1st-4th及びリバース変速比は4速マニュアルに同じ。オー
バードライブ0.80:1, 最終減速比4.10:1,
シフトアップ・スイッチにより電磁操作。

ステアリング機構
ラック・アンド・ピニオン式、パワーアシスト標準装備。
ステアリングギヤ比17.1:1。ロック・ツール・ロック3.5回転。
回転半径4.9m。

サスペンション機構
前輪:ストラット式。コイルスプリング、テレスコピック・ショ
ック・アブソーバー、スタビライザー付。

後輪:コントロールアーム、トルクロッド付リジッド・アクスル
方式。コイル・スプリング、テレスコピック・ショック・
アブソーバー、スタビライザー付。

ブレーキ機構
4輪ディスクブレーキ。パワーアシスト付。レリーフバルブ付
リアブレーキ。ダブルライアンゲル式二系統ブレーキシス
テム。ステップ・ボア・マスターシリンダー付デュアル・ハイドロ

ーリックスシステム。駐車ブレーキ:リアドラム内蔵。

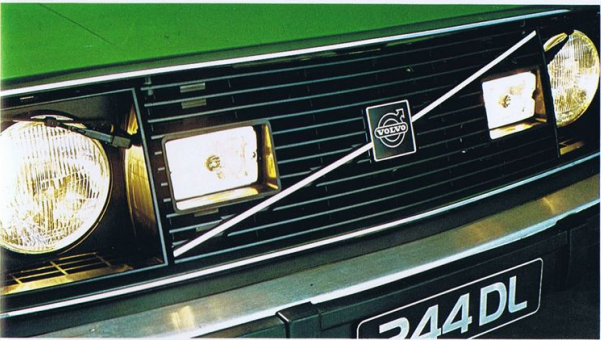
計器、インテリア
ダッシュボード・パッド入りダッシュボード。インストルメント・パ
ネル照度調節付。6桁積算計及びトリップメーター内蔵のスピ
ードメーター。水温計。クォーツ・クロック。
警告灯:オルタネーター・油圧、排気系統過熱、方向指示器・ハ
イビーム、駐車ブレーキ、フットブレーキ失効、ストップラン
プ/テールランプ/ロービーム/各バルブ断線。照明及びキ
ー付グローブボックス。ステアリング・ロック組込イグニッ
ションキー。センターコンソール:リアウィンドウ熱線、4ウェイ
・フラッシュャー、エアコンディショナー、各スイッチ。ヒーター
/クーラー自動温度調節ノブ。シートベルト装着警告灯/ブ
ザー。オートアンテナ、プロワー・コントロール各スイッチ。
シガーライター・灰皿。AM/FMステレオラジオ付カセット
カーステレオ。

ホイール・タイヤ
242DL, 244DL=5J×14。ディスクホイール。スチール・ラジアル
タイヤ、175SR-14, 244GL=5.5J×14, 185/70SR-14。

その他、標準装備
ステアリングコラムに方向指示器/ビーム切換レバー。フ
ロントウィンドウ/ヘッドライトワイパー・ウォッシャーのコン
ビネーションレバー。シートと一体式ヘッドレスト。フロント
及びリアシート両側に3点支持イナーシャリアル付シートベル
ト(リアシート中央のみ2点式)。フロントウィンドウに安全合せ
ガラス。パッド入りサンバイザー。夜間防眩切替式バックミ
ラー。一体成形ルーフライニング。熱線吸収ガラス。パッド入り
ステアリングホイール。バイルカーペット。フロントドア及びフ
ロントシート背面にポケット。エンジンルームに照明用ランプ。
前後に牽引フック。ドライバースシートにエレクトリックヒーター。
4輪にマッドフラップ付。

車種	242DL (M/T)	244DL (M/T) (A/T)	244GL (M/T) (A/T)
ボ デ イ 型 式	2ドアセダン	4ドアセダン	4ドアセダン
全 長	4,900mm	4,900mm	4,900mm
全 巾	1,705mm	1,705mm	1,705mm
全 高	1,450mm	1,450mm	1,450mm
ホイールベース	2,640mm	2,640mm	2,640mm
最低地上高(空車時)	165mm	165mm	165mm
車 軸 重 量	1,325kg	1,345kg (1,365kg)	1,365kg (1,365kg)
乗 車 定 員	5名	5名	5名
エンジン型式	直4 B21F	直4 B21F	直4 B21F
総排気量	2,127cc	2,127cc	2,127cc
圧縮比	8.5:1	8.5:1	8.5:1
最大出力(DIN)	106hp/5,200rpm	106hp/5,200rpm	106hp/5,200rpm
最大トルク(DIN)	16.3kgm/2,500rpm	16.3kgm/2,500rpm	16.3kgm/2,500rpm
登坂能力(tan α)	0.43	0.43(0.66)	0.46(0.66)
気化方式	機械式連続燃料噴射(CI)	機械式連続燃料噴射(CI)	機械式連続燃料噴射(CI)
使用ガソリン	レギュラー無鉛	レギュラー無鉛	レギュラー無鉛
燃料タンク容量	60ℓ	60ℓ	60ℓ
変速機	マニュアル	マニュアル(オートマチック)	マニュアルOD付(オートマチック)
ブレーキ	パワー、2系統、4輪ディスク	パワー、2系統、4輪ディスク	パワー、2系統、4輪ディスク
タイヤサイズ	ラジアル175SR-14	ラジアル175SR-14	ラジアル185/70SR-14
最小回転半径	4.9m	4.9m	4.9m
ステアリング型式	パワー、ラック・アンド・ピニオン	パワー、ラック・アンド・ピニオン	パワー、ラック・アンド・ピニオン
エアコンディショナー	純正品標準装備	純正品標準装備	純正品標準装備
シートベルト	イナーシャリアル3点支持(前後)	イナーシャリアル3点支持(前後)	イナーシャリアル3点支持(前後)

●諸元データはメーカー発表の資料に基づくもので、運輸省認可の諸元表に記載されるものと異なる場合があります。
●価格、仕様は予告なく変更する場合があります。
●写真は日本国内で販売されるものと異なる場合があります。
●本カタログに関するお問い合わせは、本社マーケティング本部まで……



アクセサリーの数々——

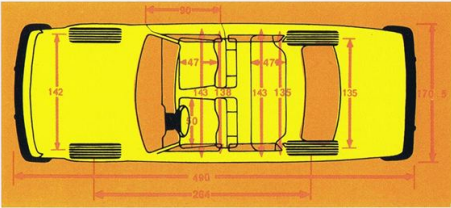
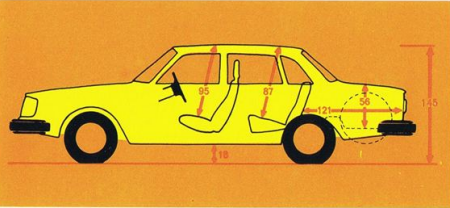
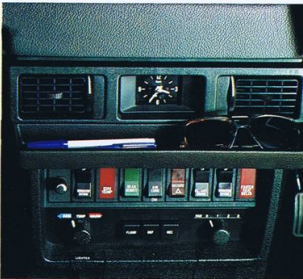
あなたのボルボにちょっとした個性的な味をそえ、お
役にも立つ純正アクセサリーを揃えてください。詳しく
は、お近くのボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

シートカバー
前席、後席、ヘッドレスト用に、豪華なカバーが揃って
います。内装の保護と同時に、個性的なあなたのボル
ボを演出できます。耐久性があり、ご家庭の洗濯機
で簡単に洗え、アイロンかけも不要です。ブルー、ダー
クブラウン、グリーン、オレンジ、イエロー、ワインレッド、
ベージュの各色が選べいただけます。

フォグランプ組み込みフロントグリル
スポーティな個性をご希望の方に、最適なフォグランプ
付フロントグリルキットです。ボルボ自慢のバンパーで、
しっかり保護されており、軽い衝撃ではダメージを受け
ません。

お子様用安全シート
大人ならそれほどでもない急停止でも、幼児にとって
は危険な場合があるので、お子様を車に乗せるとき、
何かと不安があると思います。ボルボでは、6才位まで
のお子様を、出来る限り安全に保護するために、安
全シートを開発しました。このシートは、フロント、リア
いずれのシートにも簡単に取り付けられます。なお強度
も45km/hでの衝撃に耐えられるよう、設計されています。

フロント・コンソール・ボックス
小銭、サングラスなど、ちょっとした小物を入れておくの
に便利です。

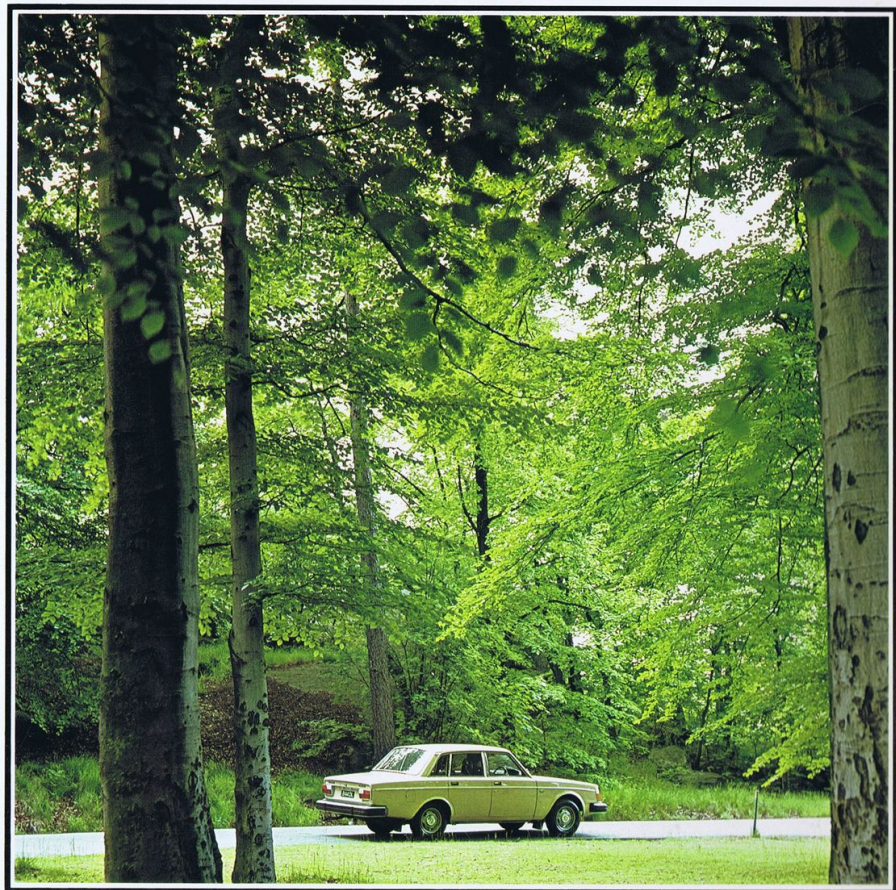


〒106・東京都港区六本木6丁目11番9号

帝人ボルボ株式会社

六本木営業所

電話(03)470-2833直通



ボルボ日本総代理店

帝人ボルボ株式会社

東京都港区六本木6-11-9 スウェーデンセンター内 平106 TEL (03)403-5171